

よこはま 縁むすび講中

5つのテーマ

- 1 土地の記憶を見直そう
- 2 次世代に継承しよう
- 3 掘り起こう! 地域のたからもの
- 4 鶴見川流域を学ぶ 鶴見川流域で遊ぶ
- 5 地域文化の担い手になろう!



2022年2月6日 シンポジウム開催(オンライン)

よこはま縁むすび講中～地域とつながる、地域がつながる～
横浜国立大学の大原一興教授による基調講演、参加施設・団体による
2021年度の活動報告、クロストークを行いました。
HP内で全編動画を配信しています。ぜひご覧ください！



「エコミュージアムの発想を今後の方向の一つとして期待」
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 大原一興教授の基調講演より

「従来型のミュージアム」は、建物(箱)の中での展示や活動を外から訪ねるスタイルですが、「エコミュージアム(地域まるごと博物館)」は、地域を覆うように存在する有形無形の地域資源を、地域の人々が自ら収集保存・調査研究・展示教育普及し、住民自身の地域への誇りや愛着の気持ちを高めるという運動です。よこはま縁むすび講中の活動はまさにこのエコミュージアムの考え方につながっています。私は、よこはま縁むすび講中がエコミュージアムとなっていくことに大変期待しています。日本のこれまでのエコミュージアムではアート活動との連携が弱い点があるのですが、縁むすびではすでにアートと他分野の連携が進んでおり、これは特筆すべき特徴です。また、対象を北部4区に設定している点も非常に意義深い。高度成長期の住宅地開発期を経て、これから郊外地域が自分たちの社会をどうつくっていくかが日本全体でも問われている現代、再び旧港北4区の一体感を地域として認識し、つながっていく良いチャンスとなるでしょう。

これからのよこはま縁むすび講中では

参加施設や団体どうしのつながりが生まれたことで、創造的な活動の成果作品を他所へ巡回展示する、イベント企画時には互いに助言し合ったり連携企画を行う、イベントノウハウを共有するなど有益な交流が広がっています。今後は、地域で活動する他の団体や企業、施設とも積極的に連携していきたいと考えます。



よこはま
縁むすび講中

<http://yokohama-enmusubi.jp/>

【事務局】横浜市歴史博物館(担当 橋口)

TEL: 045-912-7777 / MAIL: rekihaku01@yokohama-history.org

文化



つくる

横浜北部

港北区・緑区・青葉区・都筑区

をつなげる



子ども

ふれる

道

伝える

よこはま 縁むすび講中

川



学ぶ

地域資源を楽しみ、持続可能なふるさとづくり

「よこはま縁むすび講中」は、
横浜北部(旧港北区4区:港北区、緑区、青葉区、都筑区)の
地域文化遺産と市民をつなぐ取り組みです。

文化・歴史・自然・産業・商業・公共施設・民間施設など、
暮らしていても意外と知らない地域のことを知るきっかけとなるような
イベントの実施や情報発信を行います。

身近な郷土をもっと好きになる市民が増えることが、
地域の魅力そのものになるとと考えています。

<http://yokohama-enmusubi.jp/>

歴史

ひらく

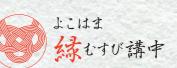


地遊ぶ

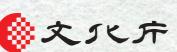
【主催】よこはま縁むすび講中実行委員会

(横浜市歴史博物館、横浜市民ギャラリーあざみ野、緑区民文化センター みどりアートパーク、公益財团法人大倉精神文化研究所、小机城のあるまちを愛する会)
【協力】横浜メディアビジネス総合研究所(YMBL)、横浜市交通局、NPO法人森ノオト、横浜国立大学大原研究室

この事業は文化庁「令和3年度地域と共創した博物館創造活動支援事業」で実施しました。



よこはま
縁むすび講中





アートでつなぐ横浜らしいまちづくり 横浜市民ギャラリーあざみ野

横浜市男女共同参画センター横浜北とともに「アートフォーラムあざみ野」を運営しており、館内には展示室とギャラリーがある。美術というジャンルを超えた創造性あふれる表現活動を幅広く育み、人と人が交流する市民と創造活動の「出会いの場」をつくることを目的に、多彩な事業を手がける。そこはま縁むすび講中では、地元密着で地域資源を深掘りし、体験してもらう活動を、アートを切り口に展開する。

2021年度活動

1 自分の思いと写真

横浜市立山内小学校5年生による写真と俳句展

子どもたちが身近な地域資源や環境に目を向け掘り起こし、感性を發揮した作品を国語の授業で取り組んだ自作の俳句とともに展示した。



横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL 045-910-5656 / FAX 045-910-5674
<https://artazamino.jp/>

2 「アートフォーラム通り」地域連携活動YouTube制作

近隣のお店や施設と連携し、自館前の通りを一般市民に親しみやすく紹介する動画を配信。

3 あざみ野カレッジ&よこはま縁むすび講中

特別講座「青葉区の大山街道を知る」

現国道246号を並走する「大山街道」についての2回の講座を開催。

(1: 葛飾北斎作『鎌倉 江ノ島 大山 新板往来双六』をテーマに大山街道の研究者を招いて講演 2: 青葉区にある街道沿いの旧跡をめぐるまちあるき)



アートで土地の記憶を体感 緑区民文化センター みどりアートパーク

緑区内唯一の文化専門施設として、文化芸術を通じて地域の人との絆をつくることを目標に、誰もが芸術にふれることができる環境づくりをめざす。地域文化の振興と地域社会全体にアートで貢献できるよう様々な企画を実施している。よこはま縁むすび講中では、記憶に残るような体験・体感のできるアート活動を展開する。

2021年度活動

土遊び 土で絵を描くワークショップ

緑区内や都筑区内で採取した土、木々を燃やし炭や灰などから土絵の具を作り、アーティストの講師とともに公募で参加した子どもたちが絵を描く4ヶ月にわたるワークショップ。子どもたちが里山で体感し自然の命の強さを描いた「土絵」3枚が完成した。



横浜市緑区長津田2-1-3
TEL 045-986-2441 / FAX 045-986-2445
MAIL info-m@midori-artpark.jp
<http://midori-artpark.jp/>



横浜北部における歴史文化の研究・発信拠点 横浜市歴史博物館

原始から続く横浜市の歴史や文化の変遷を伝える市の中核的博物館。「横浜に生きた人々の生活の歴史」を基本理念に、調査研究・展示・情報発信・楽しく役に立つ講座・市民参加の体験学習などを実施している。隣接する「大塚・歳勝土遺跡公園」は、国指定史跡となっている弥生時代の環濠集落と墓地を保存し復元整備したもので、屋外展示施設として市民に親しまれている。



横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL 045-912-7777 / FAX 045-912-7781
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>



2021年度活動

「かやぶき屋根プロジェクト」

大塚・歳勝土遺跡公園
茅葺き屋根の修繕作業

大塚・歳勝土遺跡公園内に復元されている堅穴住居の茅葺き屋根の修繕を、市民から募ったボランティアで継続的に実施する取り組み。伝統的な技術や先人の知恵を教わりながら文化財にふれられると参加者から好評。



港北区、緑区、青葉区、都筑区の4区から参加している
施設・団体と、2021年度の活動を紹介します。
今後は、この地域で活動する他の団体や施設、組織、企業などと
さらに広くつながり、協働することをめざしています。

2021年度の活動はいずれも
レポート記事をHPで公開中!



誇るべき歴史を伝え地域活性

小机城のあるまちを愛する会 + 公益財団法人大倉精神文化研究所

「小机城のあるまちを愛する会」は、小机城を中心とする歴史関係イベントやまちおこし活動を会のメンバーも楽しみながら次々に展開する市民団体。地域の歴史的魅力再発見と、地域活性を活動の柱に据えている。郷土史に精通する同区の大倉精神文化研究所が協力し、区外の団体とも連携しながら活動フィールドを広げる。



2021年度活動

1 小机城ガイドツアー

小机城周辺と、関連のある区外の城址などを歩いてめぐる歴史ガイドツアーを5回開催。外部から講師を招聘した回もあり、充実した内容になった。

2 小机城 秋の陣

～親子で楽しむ～ チャンバラ合戦
小机城址で行うチャンバライベント。感染拡大により規模縮小し、体験会として実施した。刀の素材は柔らかながら、甲冑をまとったチャンバラは本格的かつ迫力満点！

3 『小机の重政』上映会

音声だけのボイスドラマ『小机の重政』に、地元の小学生や高校生が絵、アニメーションをつけた動画を上映するイベントを3回開催。完成したドラマ動画は横浜北部の歴史教育の教材としても活用が期待される。

[小机城のあるまちを愛する会]
(Facebook)
<https://www.facebook.com/kozukuejou/>
[大倉精神文化研究所]
横浜市港北区大倉山2-10-1
TEL 045-542-0050 / FAX 045-542-0051
MAIL okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp
<https://www.okuraken.or.jp/>

よこはま縁むすび講中の活動に興味を持った一般の方、協働を検討したい団体の方、お問い合わせなどは、掲載の参加施設・団体もしくは裏面の事務局までどうぞ連絡ください。